

## 現地調査の実施状況

- ・ 3号機SGTS室
- ・ 5号機原子炉建屋
- ・ 4号機原子炉建屋

2023年3月7日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

( 1 ) 3号機SGTS室 (2022年1月26日)

## (1) 3号機SGTS室

### (1) 目的

東京電力福島第一原子力発電所事故時の放射性物質の放出時期等に係る検討において、3号機非常用ガス処理系の排ガスモニタのデータを用いることを検討していることから、当該モニタ位置等を確認するための予備調査を行う。

### (2) 場所

3号機SGTS室

### (3) 調査日

2023年1月26日

### (4) 調査実施者

原子力規制庁職員 5名

### (5) 被ばく線量

最大: 0.16 mSv、最小: 0.07mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

## (2) 5号機原子炉建屋 (2023年1月26日,27日)

## (2) 5号機原子炉建屋

### (1) 目的

1号機RCW系統で高濃度の水素等が確認されたことを受けて、当該系統の構成機器等を(実機で確認可能な)5号機にて確認する。また、現在、東京電力にて調査中&事故分析検討会で議論中の1号機PCV内部調査にて確認されつつあるペDESTAL内部の状況等に関して、1号機で調査等がされている箇所を(実機で確認可能な)5号機にて確認する。

### (2) 場所 5号機原子炉建屋

### (3) 調査日 2023年1月26日、27日

### (4) 調査実施者

2023年1月26日 原子力規制庁職員 6名

2023年1月27日 原子力規制庁職員 6名

### (5) 被ばく線量

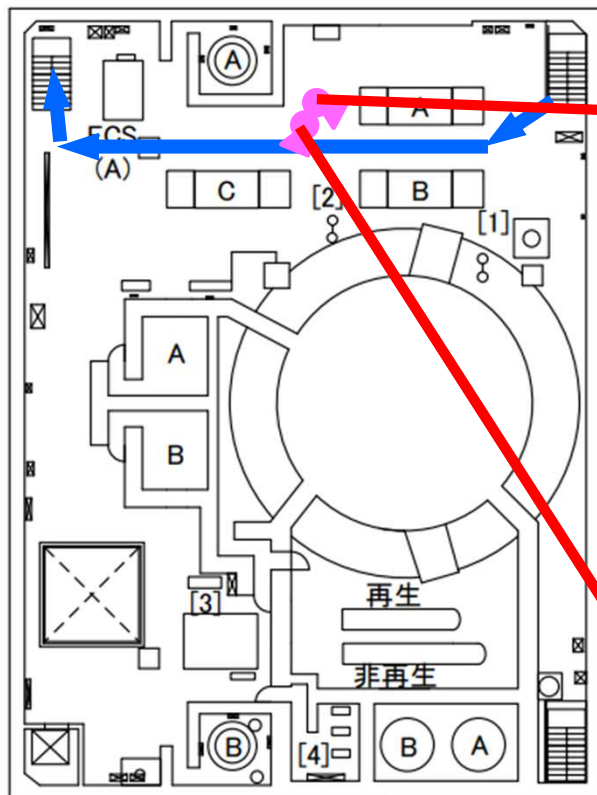
2023年1月26日 最大: 0.16 mSv、最小: 0mSv

2023年1月27日 最大: 0.07 mSv、最小: 0.04mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。

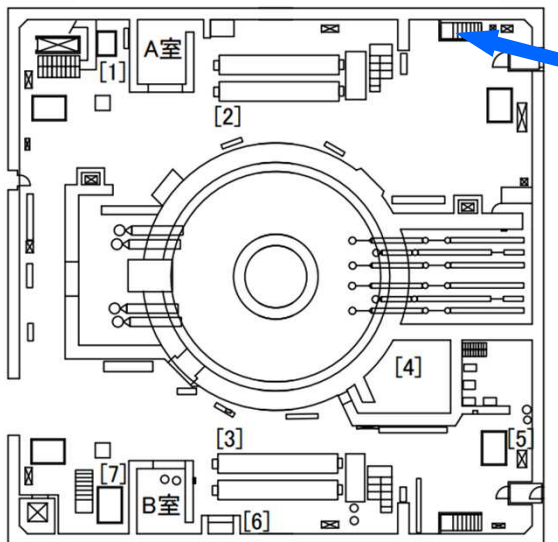
## 5号機RCW系統の確認状況

5号機原子炉建屋2階



写真は、いずれも2023年1月26日原子力規制庁撮影

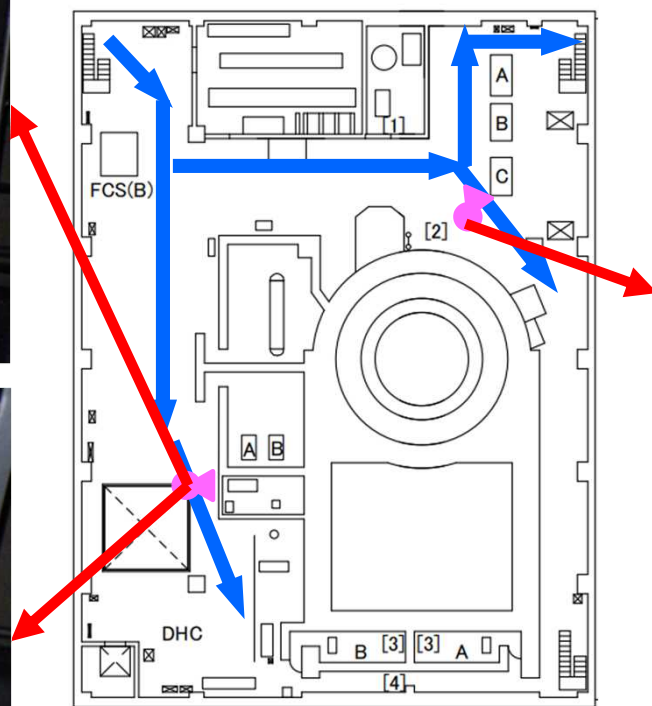
5号機原子炉建屋1階



## 5号機RCW系統等の確認状況



5号機原子炉建屋3階

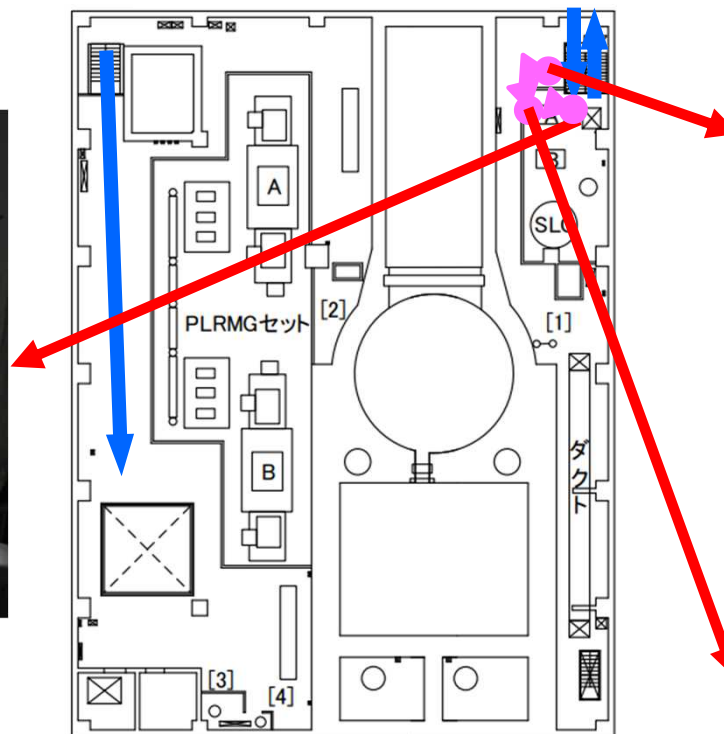


写真は、いずれも2023年1月26日原子力規制庁撮影

図の出典: 建屋内の空間線量率について(2015年12月28日、東京電力株式会社)

## 5号機RCW系統の確認状況

5号機原子炉建屋4階



写真は、いずれも2023年1月26日原子力規制庁撮影  
※いずれの写真ともに、4階からさらに5m程度上がった場所で撮影したもの

図の出典: 建屋内の空間線量率について(2015年12月28日、東京電力株式会社)



## 5号機ペDESTALの確認状況

(ペDESTAL入口から中を見た様子)



(ペDESTAL内から外を見た様子)



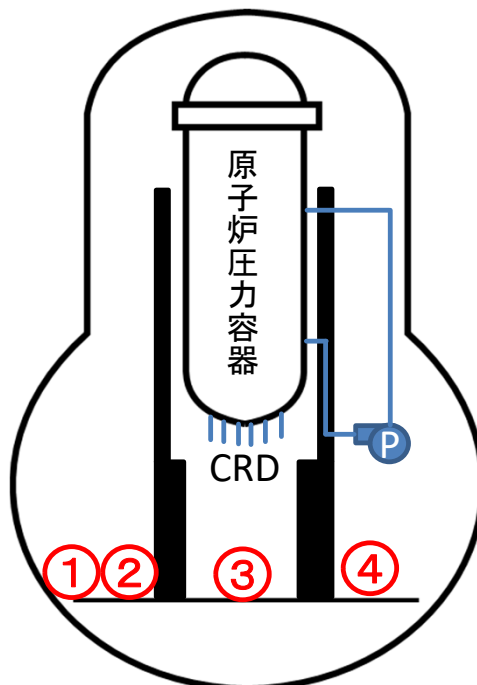
(ペDESTAL入口から中を見た様子)



(ペDESTAL入口付近の鉛毛マット)



福島第一5号機



原子炉格納容器

写真は、いずれも2023年1月27日原子力規制庁撮影

## (3) 4号機原子炉建屋 (2023年2月24日)

## (2) 4号機原子炉建屋

### (1) 目的

4号機原子炉建屋では、原子炉建屋内の損傷状況等をデータ化して損傷箇所の形状や構造物の傾斜等を確認することにより詳細に構造物の損傷状況を把握するために、2020年7月以降、3Dレーザースキャナによる形状測定を実施してきた。

今回は、4号機原子炉建屋2階の形状測定を実施するとともに、定点測定を実施するために設置したターゲット球の状況確認を行った。形状測定結果については、今後の事故分析検討会で提示する。

### (2) 場所

4号機原子炉建屋

### (3) 調査日

2023年2月24日

### (4) 調査実施者

原子力規制庁職員 5名

### (5) 被ばく線量

最大: 0.04 mSv、最小: 0.03mSv

※被ばく線量[mSv]の最大、最小は、調査実施者のうち、最も被ばく線量の高い人の値と低い人の値を1日の合計値として示した。